

プロジェクト名：フィリピン国地域住民による森林管理プログラム（CBFMP）強化計画
(調査期間：2008年5月～2.5ヶ月、担当業務：農民組織化／技術普及)

調査背景

フィリピン国（以下「フィ」国）では過剰伐採、山火事、農牧地への転換、違法伐採等による森林減少と劣化が深刻な問題であり、そのために自然災害の被害も拡大し、経済・社会発展の障害となっている。こうした事態に対処するため、「フィ」国政府は1995年に地域住民による森林管理（Community-Based Forest Management: CBFM）プログラムを策定したが、住民組織（PO）の能力・資金不足から計画的な森林管理や生計向上活動が実施されておらず、また行政機関も予算や技術力の不足から住民への指導を十分に行えない状況にあったため、「地域住民による森林管理プログラム強化計画」プロジェクトが2004年6月から5年間の予定で開始された。本プロジェクトでは、リージョン3内に設置されたモデルサイトで得られた自然資源の持続的利用に関する知見をもとに研修普及活動を行い、POによる主体的・持続的なCBFM活動の実施をめざした。その支援として、自然資源の持続的利用を促進するための普及ツールの開発や小規模な試行的普及活動が必要であり、本件短期専門家派遣が要請された。

調査概要

本業務では、FAOにより開発された農民参加型の技術普及手法であるFFS（Farmers Field School）を新たに取り入れて、農業普及員をFFSファシリテーターとして活用しながら普及活動を行った。また住民の理解や協力を得るために、単に森林保全や植林を説くだけでなく、森林を利用しながら保全するという視点が重要であり、そのために住民の生計向上により結びつくような技術として「アグロフォレストリー」を取り上げた。

担当事項

- 「フィ」国で実施中のFFSの現状調査及びCBFMサイトに応用するための問題点や課題の整理、土地資源に関する開発阻害要因及び開発可能性調査。
- FFS実施に関わる主要関係者とカリキュラム作成及びFFS実施計画策定ワークショップの実施
- CBFM制度に合致したアグロフォレストリーFFSエンタープライズカタログ、実施マニュアル、FFSファシリテーター育成カリキュラム及び教材の開発及び作成
- パイロットサイトにおけるFFSの実施及び必要なフォローアップについての助言
- 収集したFFS関連資料を活用しながら、上記で作成したカリキュラムの実施準備及び実施支援



Preparation of learning site for FFS



FFS session under the tree



Presentation of discussion results



Community nursery near the FFS site